

県士会 ニュース

No.
213
[2022.2]

Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

Contents

TOPIC

- 1 巻頭言
- 2 第18回 神奈川県作業療法学会運営の皆さまに感謝を込めて
- 2 40周年を記念して『県士会ロゴマーク』を募集します！
- 3 突撃！！隣の施設では今…
- 4 公益法人格取得への道
- 4 会長の部屋
- 5 理事会議事録
- 9 2021年度10月度理事会部員承認リスト
- 9 各部からの報告
- 11 LINE公式アカウントはじめました！
- 11 事務局からのお願い
- 11 編集後記

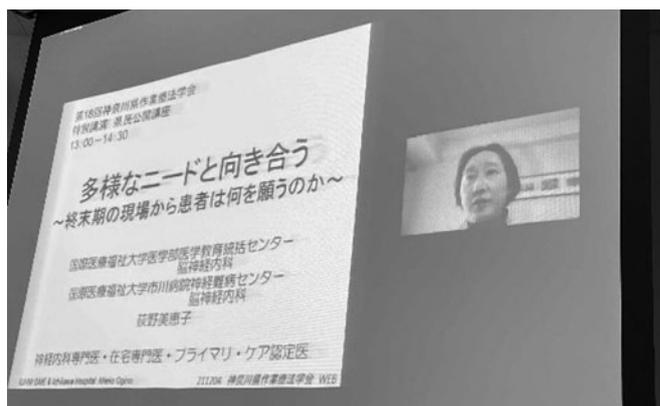
巻頭言 | 第18回 神奈川県作業療法学会 開催報告

大会長 松田 哲也 (JCHO 湯河原病院)

2021年12月4日・5日の2日間にわたり開催された「第18回神奈川県作業療法学会」はアーカイブ配信も含め無事に閉幕致しましたのでここに報告をさせていただきます。COVID-19の感染拡大に負けないで何とか学会を開催したい、その気持ちを最後まで貫き通し開催できたことは我々実行委員会としても大変嬉しく思っています。当初パシフィコ横浜での開催を検討しておりましたが、感染防止の観点からやむを得ずWebでの配信開催となりました。それまでにいろいろな葛藤がありました。WEB配信での学会は初の試みであり、果たして学会として成立するのか、そんな不安も抱きながらの準備でした。しかし結果的には4つの講演、2つのシンポジウム、4つのE-Lecture、さらに登録演題数47演題、参加者248名の

立派な学会として終えることができました。これもひとえに講演をお引き受け下さった講師や座長の先生方、そして何よりご参加下さった会員の皆様のおかげに他なりません。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

閉会式では次回「第19回神奈川県作業療法学会」の大会長に就任された藤本一博先生にもご挨拶いただきました。今回どんなことがあっても学会は開催できることを証明できたと自負しております。次回も素晴らしい大会が必ず開催されることでしょう。その時まで皆様楽しみにしてて下さい。



第18回 神奈川県作業療法学会運営の皆さまに 感謝を込めて

県士会会長 神保 武則

世界的な脅威に陥れている COVID19 は、我々の生活や活動に悉く今もなお制限を加えております。2020年夏の東京オリンピックの延期、緊急事態宣言発令、国内のイベントや数々の研修会や学会が中止を余儀なくされてきましたが、2021年12月4日と5日に第18回神奈川県作業療法学会が、県士会初のオンライン学会として開催されました。

本開催に至るまでには松田学会長はじめ、学会運営スタッフの方々や学会評議員のメンバーそして学術部の皆さまの多大なる御努力、御尽力、そして発想力があつたからこそ実現できたものと思います。通常と異なる幾多の困難を乗り越え、様々な工夫を凝らした本学会は我々の記憶に残る本当に素晴らしい学会でした。本当にご苦

労様でした。そして、沢山の方々にも御参加をいただいたと伺っております。作業療法士たちの沢山の声を絶やさず、そして溢れる可能性と未来に巡り合えた学会だったと嬉しく思います。

この度、本学会開催を見事実現に導いてくださった第18回神奈川県作業療法学会の運営委員を代表して、松田学会長にその意を含め一般社団法人神奈川県作業療法士会から感謝状を贈らせていただきました。

写真は学会閉会式当日に学会本部で撮影したものです。最後に、松田学会長ならびに運営スタッフの方々、本当にご苦労様でした。

来年度は、第5回神奈川県臨床作業療法大会、再来年度には第19回神奈川県作業療法学会を予定しています。是非またお会いいたしましょう。



県士会を代表し、金山副会長から松田学会長に感謝状をお渡し致しました。



閉会式当日の本部会場の様子。まさにテレビ局のスタジオでした。会場をご提供頂きました国際医療福祉大学の皆さまありがとうございました。

～神奈川県作業療法士会は今年で設立40周年を迎えました～

40周年を記念して『県士会ロゴマーク』を募集します！

どなたでも応募できます ふるってご参加ください

募集内容

1. 締切：2022年4月1日（金）作品提出・応募締切、消印有効
2. 賞：採用（1点）記念品をプレゼント※参加賞はありません
3. 募集内容：設立40周年を記念して、神奈川県作業療法士会のロゴマークを募集（40周年のみの使用ではなく永続的に使用します）
※本企画のためのみに創作した、国内外で未発表の作品に限る
4. 提出物：
 - 作品【ロゴマーク】
 - ※色彩・図案は自由、ただし単色で使用するもあるので、カラー版と白黒版の両方を作成すること
 - ※「神奈川県作業療法士会設立40周年」の文字を含めた場合と、含めずにロゴマーク単独で使用する場合の両方を想定してデザインすること
 - 必ず県の鳥であるカモメのモチーフを入れる
 - ※pdf/Adobe Illustrator/Microsoft Office のいずれかによるデジタル画像データとする
 - 説明文【ロゴマークの意図（コンセプト）】

※説明する簡単な文を Word で作成すること

5. 参加・提出方法：提出物を下記提出先までメールで送付
件名は「ロゴマーク応募」とし、本文に以下の事項を記入
①応募者の氏名（ふりがな）②年齢③職業④郵便番号・住所⑤電話番号⑥「応募条件および諸注意のすべての事項に同意する」旨記載する
6. 参加資格：不問
7. 審査員：40周年記念事業プロジェクトチーム一次審査を経ての神奈川県作業療法士会理事会にて決定
8. 結果発表：採用者に直接連絡するとともに、公式ホームページや県士会ニュースに掲載
9. 著作権の扱い：採用作品を商標登録する権利等、著作権に関する全ての権利は一般社団法人 神奈川県作業療法士会に帰属
10. 主催：一般社団法人 神奈川県作業療法士会
11. 提出先・問合せ先：
一般社団法人 神奈川県作業療法士会
〒231-0011
横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301
「40周年記念事業プロジェクトチーム」宛て
TEL&FAX：045-663-5997 MAIL：jimu@kana-ot.jp



突撃!! 隣の施設では今…

就労継続支援 マーキュリー 《横浜市都筑区》

就労継続支援マーキュリー サービス管理責任者 津田 香

私たちは「好き」をみつけて「仕事」に育てるをコンセプトに就労継続支援施設を運営しております。「卒業」のある関係を目指し、それぞれの目標にあった支援を心がけています。施設は多機能での運営をしており、より実践的な仕事を行い雇用関係を結ぶ「A型」と生活や病状との調整を中心に訓練をしながら就職する力を育てていく「B型」の二つが併設されています。

私たちの施設の大きな特徴は環境調整と、実践的な仕事にあります。

障害支援を行う中で、必要な医療が受けられていないケースをたくさん目にします。それは情報の少なさもありますが「これが普通」だとかご本人及びご家族様が思い込んでいるケースがあります。そのままではどれだけご本人が努力しても改善しないことを放置することで悲惨な状態が生まれ、仕事どころではないことが多々見受けられます。当施設には医療機関での仕事経験が10年超のスタッフが在籍しており、きちんとした診察をうけられるようにソーシャルワークと通院同行を大切にしております。

特に現状は精神科領域の障害をお持ちの方に関して、手帳を取得しているにもかかわらず診療のときに実際に起きていることをお話しできず、きちんとした治療に繋がっていないケースがあります。また、医師のアドバイスが理解できず、服薬や生活の改善が行えずそのままになっているケースも多数見られます。私たちスタッフは日々のことを観察し、ご本人と診察前に現在の状態を確認します。そして、診察の際にご自身に起きていることをきちんと一人で医師に伝えられるようにアシストしていきます。

実践的な仕事ですが、施設のなりたちとして提携工場の障害者雇用があります。工場での障害者雇用を積極的に行う中で、なかなかすぐに就職は難しいけれど志のある方に多く出会いました。その方達と良い形でお仕事を

していけないかと模索する中で福祉就労という業態を知り、開業となりました。

そのため、クリーニング業では実際の工場での洗濯はもちろん、畳み作業やアイロンがけ、受付などのお仕事があります。

それ以外の仕事として衣装とインスタレーションの制作を中心としたクリエイティブな仕事と自主製品があります。

この夏にはMVの衣装のお仕事と、つい先日はクリスマスイルミネーションの制作と広告撮影を行いました。きちんとプロの人たちと仕事をする中でメリハリのある生活となり当事者のやる気に繋がりがチームワークも上がりとても良い形になっております。

前述の通り、様々な挑戦はしているものの施設がオープンして、一年半になろうとしていく中で「ノビ止まり」が現在発生しています。私たちはここに作業療法の可能性を感じています。

がむしゃらに頑張るのではなく、その個人が実際に働く環境でより幸せ（自己実現）を目指すためにはきちんとした評価と訓練が必要です。また、できない理由がそれぞれの障害に合わせた個人プログラムを共に作っていき、適性を見出し実践の中で努力をしていくことで効果をだしていける施設でありたいと思います。



JR大森駅西口で開催されているイルミネーションの制作と広告撮影をしました。(一つ、一つ手作業でイルミネーションを加工し、着物の古布をパッチワークしてドレスと灯籠を作り、撮影に参加しました。)



施設内の写真です。アトリエのような場所でそれぞれが自分の作業を進めていきます。自分の目標をしっかり見据えて技術を習得し自己実現につなげます。右奥がクリーニング、左奥がハンドメイドスペース。



イルミネーション会場の様子。

公益法人化対策委員会 澤口 勇

2025年と聞いて皆さんは何を思い浮かべますか?・・実は団塊の世代が全て75歳以上となる年です。ついに後期高齢化社会があと3年で到来します。「地域包括ケアシステム」もこの2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるよう制度の構築を目指すとしてきました。ではその前年となります2024年と聞いて何か気づかれる方は?・・実は6年に1度の介護報酬と診療報酬とが同時改定の年。つまり2025年を目前にこの両方の制度を効率よく無駄なくしかも同時に改定できる、このような絶好の機会を厚労省は逃さないでしょう。平成30年度の同時改定では、医療機能の分化・強化、連携や、医療と介護の役割分担と切れ目のない連携を着実に進める改定が行われました。よって今回、令和4年4月の診療報酬改定の内容は2025年先を見据えた「未来に向けた助走期間」になるであろうと私は思っています。リハはどう評価されるでしょうか。

本会員が所属する職場の大半は「医療保険」と「介護保険」領域に政策に基づき機能分化しましたが、今後ますます医療介護連携を強化し、上述のように「どのような状態になっても、いつまでも自分らしく地域で暮らし続けられるように」私たち作業療法士は患者を支えていくことが求められるでしょう。一方で高齢化社会において市民が健康を維持していくには『病気になる障害を抱えてからリハビリを開始する』のではなく、予防も含めた自助の対処が必要であり、そのためには所属先で通院される患者以外のより多くの市民・高齢者の健康保持の役割を作業療法士が担う時代が着実に到来します。

そこで市町では、市民の皆さんに病気になる以前の普段の日常生活から『健康に気をつけてもらおう!』と様々なイベントを開催しております。本会員の皆さんも所属

する病院などに勤務されながら入院される患者さんをリハビリ室に迎えると「もっと普段から塩分を抑えた食事をして下されば・・・」「あまり仕事を抱えず、他に相談者がいなかったのかな・・・」「休みが取れなかったのかな・・・」などなど、リハ以外の生活改善などに思うことは多々あるかと思えます。よく「地域は介護保健領域の方の担当」のように言われますが「入院前の地域生活でこう気をつけておけば再発せずに済んだかもしれない」という気づきを持つ病院会員の皆さんにも、より地域に関心を持って頂きたいと私は思っております。そこに我々作業療法士会が公益法人格の取得を目指す目的があるわけです。公益法人格を取得することによって、病院や老健などの施設外に属するより多くの市民の健康福祉の向上に、職能団体として期することができます。職能団体の公益法人化は時代の要請です。当団体が公益に貢献する具体的な方法としては「市民公開講座の開催」や「障害者が自己実現できる場の提供」など手法は様々浮かぶかと思えます。アイデアをどしどし当委員会にお寄せ下さい。これから具体的に検討して参ります。

さて作業療法士会としてこの助走期間ですが、私は期間が長いほど、高く飛び立つことができると思っています。そして2025年になったら本当はすでに空高く飛んでいて、市民の期待に添えるだけの団体に当会がなっていなければならないと思うのですが、さて間に合うでしょうか・・・。

公益法人化対策委員会では来る2月27日(日)13時半～15時半において『市民公開講座：今日の精神科医療への提言～ご家族の立場から～：みんなねっと理事長 岡田久美子さん』をオンラインで開催します(参加費は無料。詳細は県士会HPをご覧ください)。2025年のその先に向けてテイクオフです!ぜひ皆様の参加をよろしくお願い致します。

神奈川県作業療法士会

会長の部屋

会長に直接話しかけてみたい方、こちらのQRコードでフォームに入力してください
※匿名でご記入頂けます!



今回の「会長の部屋」は事務員さんの話をします。

この神奈川県作業療法士事務局には我々の大切な事務員の方々が3名いらっしゃいます。松村さん 鎌田さん 武内さんです。

時々事務局を訪問して、事務員さんたちと定期的にお話をしています。この3名はそれぞれ役割分担をされております。OT協会からの情報配信や他県士会からの情報、また他団体の情報配信、そして厚労省や神奈川県などからの問い合わせなど

が絶え間なく届きます。これらを迅速・確実に我々理事に連絡を下さっています。また、会員からの多岐に渡る問い合わせの対応、各理事と



の各種関連事業の調整や相談役、さらには財務的なやりくりに至るまでの確に業務をして下さっています。我々には欠くことのできないスーパーレディたちなんです。彼女たちのお蔭で我々は各職場での日常業務に専念できていることに改めて『感謝』したいと思います。

事務員の皆さま、本当にありがとうございます。

(会長：神保 武則)

理事会議事録

★ 2021 年度第 4 回理事会 議事録 2021.9.16

日 時：2021 年 9 月 16 日（木）19：00～21：07

場 所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、金山桂（副会長）、吉本雅一（事務局長）、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、戸塚香代子、木村修介、望月強併、澤口勇、西川航平、大郷和成（18 名）

出席監事：錠内広之、野々垣睦美（2 名）

I. 会長より挨拶

通帳とカードの紛失アクシデント事例が続けて 2 件発生しました。管理方法についての強化や対策については臨時三役会で検討しました。各部署ともに会員の意思と期待を背負って業務にあたっていることを再度自覚してください。

47 委員会では中村会長より強いメッセージを頂きました。協会の組織率は現在 60% を切り低下しています。私たちの職域や診療報酬改定について国へ陳情していくには、組織的な働きかけが重要です。当会の組織率は 70% 台ですが私たちが組織率をさらに向上し、作業療法士の有用性を訴え確実なものとしていく必要があります。

II. 報告事項について

【各部署】

1. 財務部

(1) 通帳とカードの紛失事案について

2 件の紛失事案あり。口座取引を停止したが、不正な利用はなかった。要因と予防対策について説明・共有し、各部署管理対策の実施と強化を依頼した。

〈要因〉

- ア) 自宅内の保管場所が徹底されていなかった
 - イ) 他の資料や書類と混在してしまう場所に保管
 - ウ) 理事や会計担当者が初任であった
 - エ) 通帳やカードの受け渡し方法についての周知不足
 - オ) 会計説明会において「通帳・カードの管理方法」まで説明できていなかった
 - カ) 会計に関する事項についての情報発信が不足
- 〈予防対策〉
- ア) 公的な書類や会計関連の物品については自宅内の固定した保管場所でのみ管理をするよう徹底する
 - イ) 自宅や職場においても作業する場所は 1 ヶ所に限定して物品を様々な場所に持ち運ばないようにする
 - ウ) 会計関連物品の受け渡しはレターパックプラス（発送追跡と本人受け取り）で個人宅に送る事を優先
 - エ) 通帳・カードの保管においてファスナー付きの袋で保管する
 - オ) 次年度より通帳・カードを郵送する際、ファスナー付きの袋に入れて郵送する
 - カ) 会計説明会において「通帳とカードの保管方法」や「レターパックの使用法」についての説明も行う
 - キ) 特に新任の理事・会計担当者に対して、疑問点があれば財務部まで問い合わせを行うように発信する

(2) 中間監査について

10 月 16 日（土）に実施予定。

2. 学術部

(1) 研究助成事業の申請・審査に関して

2 件の研究助成事業への申請があり合議審査にて承認。理事会にて説明確認を行った。

3. 教育部

(1) 臨床実習指導者養成状況に関して

臨床実習指導者資格要件である臨床実習指導者講習会受講等に関して全都道府県の数値状況等を報告。

(2) 生涯教育「手帳の移行手続きについて

9 月 30 日締め切り。県士会ウェブサイトに掲載済み。教育部への質問も受け付けている。

〈ポイント発行について〉

県士会主催研修会：参加者名簿を教育部へ送付し一括して手続きを行う
SIG 研修会：参加者証明書を発行し参加者各自が手続きをするよう説明する

4. 制度対策部

(1) 災害時安否確認システムの訓練運用について

9 月 25 日（土）作業療法の日に 11 時発災と設定し、災害時安否

確認システムの訓練運用を実施する。

理事メーリングリスト（主）と LINE グループ（従）を使用し安否確認、業務執行状況について確認を行う。

日本作業療法士協会事務局より 2021 年度大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練と連動して実施。日本作業療法士協会へ報告書を提出予定。

5. 学会評議委員会

- (1) 第 18 回神奈川県作業療法学会での支払い代行業者の活用に関して 3 社を比較検討した結果イベントペイを契約運用
- (2) 第 18 回神奈川県作業療法学会での Zoom 契約使用に関して学会用に Zoom（ウェビナー含む）を契約運用
- (3) 学会の後援依頼先について 第 18 回実績を参考にマニュアルへ反映する予定。

6. 地域包括ケアシステム推進委員会

横浜市にてフレイル予防啓発媒体作成ワーキンググループを開催。担当部署の西川理事が出席する。

【理事】

1. 神保理事

- (1) 4 ヶ年計画（2019-2022 年）目的および後期（2021-2022 年度）目標についてのウェブサイト掲載について
ウェブサイト掲載資料を確認。ウェブサイト管理委員会に掲載を依頼する。エリア化についてはエリア化推進委員会を中心に理事会内、会員間とコミュニケーションを活発にして、目的・方針を明確化しネットワークを構築していく。組織率向上を図る意味では重要な事業戦略と捉える。

2. 金山理事

(1) 選挙ワーキンググループより

- ア) マニュアルについて
ワーキンググループ作成中。10 月 1 日付会員数で決まる各ブロック代議員数は端数を四捨五入。
- イ) 代議員選挙のスケジュール予定について
本日：選挙管理委員会承認
10 月：各ブロックの代議員数の決定
11 月：選挙公示 12 月：立候補開始→締切
1 月：投票（定員を超えた場合）
推薦（定員に満たなかった場合）
確定（定員と同数だった場合）
2 月もしくは 3 月：代議員の公表報告

【三役】

1. 47 委員会について（田中副会長）

- (1) 9 月 4 日開催された 47 委員会（下記）について
 - ア) 中村会長からのメッセージ
 - イ) 倫理委員会について
 - ウ) 組織率向上について
 - エ) 「協会員＝士会員」実現のための検討委員会
 - オ) 災害対策について
 - カ) 広報部意見交換会
 - キ) 2022 年度重点活動項目・第四次 5 ヶ年戦略
 - ク) OT 白書アンケートについて

2. 事業評価・計画について（田中副会長）

8 月度に実施した事業評価・計画に関する理事の質問意見取りまとめを共有した。11 月に開催予定の来年度の事業計画を立案する際に反映する。また、11 月には事前に質問・意見を取りまとめる予定。

III. 審議事項について

- 1. 各部門の部員承認について→承認
- 2. 事務局員の時給改定について→承認
- 3. SNS 運用マニュアルについて→承認
公式 LINE アカウントを使用し友だち登録者へ当会の情報や作業療法の啓発を行う。他の SNS の使用に関しては今後検討。Facebook との連動は可能。2 次転用を防止するため管理者と運用担当者は限定して開始する。問い合わせ先は専用の県士会ドメインを作成し運用担当者が対応。
マニュアルとして定め適宜更新する。
- 4. 40 周年記念事業について→承認
澤口理事からの提案を受け田中副会長から提案
実施期間は来年度中までと変更。プロジェクトチームを結成して計画立案実行を進める。
計画立案、予算案の立案を綿密に行い、広く会員へ当会の 40 周年を広報し参加できる事業とする。

IV. その他 連絡事項等

- 1. 県士会員による地域支援活動の活動状況調査について（大郷理事）
第 1 期は 9 月末締切。引き続き回答を依頼。
- 2. 学会評議委員会より
戸塚理事が 9 月 26 日より産休に入るため田中副会長が委員会のメンバーとして支援する。

3. 周知依頼について
 (1) サウンドウィッチマンの「病院ラジオ (リハビリ病院編)」9月20日放映について
 (2) 岡山県学童保育連絡協議会「学童保育と作業療法について」→地域リハビリテーション部周知
5. 監事より
 4ヶ年計画や目標、SNS マニュアル、事務局員の給与改定など様々な内容が本日検討されました。事務局員の有給休暇の取得状況についても併せて確認をお願いします。引き続き当会の適切な運営のために理事会の議事運営を行ってください。 以上(文責:事務局長 吉本 雅一)

★ 2021 年度第 5 回理事会 議事録 2021.10.21

日 時: 2021 年 10 月 21 日 (木) 19:02 ~ 21:30
 場 所: オンライン開催のため各自自宅・職場
 出席理事: 神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、神田崇央、佐藤範明、戸塚香代子、望月強併、澤口勇、西川航平(16名)
 欠席理事: 野本義則、木村修介、大郷一成(3名)
 出席監事: 鉦内広之、野々垣睦美(2名)
 その他出席: 池田公平(選挙管理委員会 委員長)

I. 会長より挨拶

円滑な議事進行と将来を見据えた活発な討議にご協力をお願いしたい。本日も理事会の司会進行は吉本事務局長にその任を依頼する。

II. 報告事項について

【トピックス】

1. 選挙管理委員会

- (1) 選挙管理委員長よりあいさつ
 マニュアルに沿って今年度実施される代議員選挙を執り行っていく。
- (2) 代議員定数の報告
 2021 年 10 月 1 日付で県士会の正会員総数は 2353 名 (A ブロック 1386 名、B ブロック 931 名、所属不明 36 名)であった。したがって 2022・2023 年度の代議員定数は 77 名 (A ブロック 46 名、B ブロック 31 名) で確定。
- (3) 選挙に向けたスケジュールなど
 11 月度理事会にて選挙管理委員長より説明する。
2. 地域支援事業への参画推進のための WEB 研修会報告今回 5 名 (西川・佐藤準・田中・佐藤範明理事、札野部員) が参加 (遠藤理事は協会の委員として参加)。
- (1) 中村協会長からの挨拶
 介護保険制度にある生活行為向上マネジメントの算定率が低くなっている。作業療法士の専門性、職域など会員と一緒に考えていきたい。
- (2) 研修会の内容
 作業療法士が全国約 1,700 すべての市町村の地域支援事業へ参画することを目標として、協会士会連携ならびに士会間連携を一体的かつ積極的に進めていく。地域支援事業と OT は親和性が高く QOL に寄与することができる。先進事例として大阪府士会による生活課題アセスメント訪問指導者育成事業の研修やケアマネジャーと一緒に同行訪問アセスメントし、ケアプランの一助とする活動を報告。高知県士会は地域の介護人材不足のため一般住民のサポーターや OT がアセスメントをしていることを報告。
- (3) 今後について
 次回開催は 11 月 20 日 (土) を予定。通所 C 型全国の 15 事例について共有予定。

【各部署】

1. 事務局

- (1) 県士会 HP 更新について
 問い合わせ窓口、よくある質問について整理更新。会員問い合わせ専用メールアドレスを作成整備。役員間や渉外業務では従来のメールアドレスを継続。
- (2) 県士会裁量ポイント手続きについて
 対象者別手続きを整備。事務局がリストを保存し年度末に教育部より日本作業療法士協会へ申請。

2. 財務部・監事

- (1) 中間監査について
 10 月 16 日 (土) に実施。活動ならびに収支が概ね健全であることを報告。オンライン会議を含めて透明性を担保するために記録・報告に努めるように改善を提示した。

3. 制度対策部

- (1) 災害時安否確認システムの訓練報告

- ア) 災害時県士会員安否確認訓練の件
 9/25 11 時 県下に震度 6 弱発生を想定し同時刻に安否確認システム登録フォームを WEB サイト上に設置。
 72 時間後 9/28 11 時 32 件の安否確認登録あり
- イ) 理事役員災害時連絡訓練
 9/25 11:00 県下に震度 6 弱発生を想定
 9/25 11:30 事務局長発信の理事役員の安否確認 LINE で
 14:24 にて理事役員全員の安全の報告確認
 9/25 13:00 事務局長発信理事役員安否確認メール
 9/26 11:23 にて理事役員全員の安全の報告を確認
 9/26 13:00 災害対策本部立ち上げ
 本部長の会長より理事役員メーリングリストにて「事業執行可否に関する情報報告依頼」メール発信
 9/28 20:00 全部門「事業執行に概ね問題なし」
 9/29 13:00 通常業務可能判断し対策本部を解散
 9/29 13:30 訓練終了

ウ) 所感

県士会員安否確認は昨年より件数は多いが、まだまだ少なく啓発の工夫が必要。理事役員連絡訓練は非常にスムーズであり、特に補助的手段である LINE の早さ利便性の高さを実感した。

4. 学会評議委員会

- (1) 第 5 回神奈川県臨床作業療法大会について
 ア) 実行委員会の構成メンバーについて
 大会長神保武則会長、実行委員長佐藤隼理事と報告
 イ) 臨床大会のコンセプトについて
 作業療法士が関わる領域は、医療・保健・福祉・教育・職業・その他に大別されているが、目的は共通して「人々の健康と幸福を促進すること」にある。
 神奈川県作業療法学会が学術的な研鑽の場であることに對して、臨床大会は作業療法の実践の報告やそれぞれの領域の実践を知る場とし、それぞれの領域を超えて作業療法の「専門性」「手段」「楽しさ」を共有できる大会にしたい。他領域や多職種との連携・協働の実践、SIG、最新のテクノロジー(デジタルファブリケーション、介護ロボットなど)、地域包括ケア、地域共生社会など様々なテーマでの開催を目指す。
- エ) 実行委員会の立ち上げについて
 大会長・実行委員長よりあいさつ
 会員同士の交流集いの場を作りこれまでのこれからの作業療法を集約したイベントとしたい。各地域で行われている作業療法をテーマに多くの役員の協力を賜りながら大会開催を実現したい。
- (2) 第 18 回神奈川県作業療法学会 進捗報告
 ア) 参加登録: 2021 年 10 月 18 日 (月) ~ 11 月 12 日 (金) 広く会員参加の呼びかけの協力を依頼
 イ) WEB 学会会期
 E レクチャー開始: 2021 年 11 月中旬を予定
 LIVE 配信: 2021 年 12 月 4 (土) 5 日 (日)
 オンデマンド配信: ~ 12 月 26 日 (日) 17:00 まで
 ウ) 一般演題: 採択 47 演題 決定
 エ) 広報: 約 500 施設宛に学会案内チラシ送付予定
- (3) 第 19 回神奈川県作業療法学会 学会長について
 学会長候補を検討中。理事会で推薦できる方を紹介してほしい。

5. 地域リハビリテーション部

- (1) 地域リハビリテーション人材育成研修会
 地域 OT ミーティング 11 月 12 日 (金) 開催予定。
 地域事業について話し合う機会として開催。広く理事役員にも参加を依頼する。

【理事】

1. 田中理事・遠藤理事・佐藤準理事・西川理事

- (1) 地域支援 WG より報告
 ア) アンケート実施状況と 12 月アンケートについて 9 月アンケートでは 100 名中 40 名程度の回答者から地域支援に関与したいという積極的な回答があった。次回 12 月は会員向けアンケート実施を予定。
 イ) 理事から提案された代議員へ意見聴取について
 当ワーキンググループでは地域支援に関する活動のみとする。
 エ) 地域支援事業 PR について「OT の活用推進のためのリーフレット」A3 両面リーフレット作成中。今年度中の完成見込。
 オ) 次年度予算と担当部署の検討
 リフレット印刷費・発送費等は地域リハビリテーション部、広報部、地域包括ケアシステム推進委員会等で按分して負担する予定。次年度もワーキンググループとして引き続き活動を継続する。

2. 金山理事

- (1) 選挙ワーキンググループより報告
 ア) 立候補・推薦届の提出は県士会事務局留

- イ) 立候補届の受理連絡については県士会公式アドレスを作成選挙管理委員会よりメールで連絡
- (2) Zoom アカウントについて
研修会用の Zoom アカウントを新規に契約。
- 3. 佐藤隼理事・佐藤範明理事
 - (1) 公式 LINE アカウント運用方法について
10月15日締め切りで意見を募ったが特段意見なし。
掲載情報転用時のリスク対応を追加した運用マニュアルに沿って公式 LINE アカウントの運用を開始。
公式 LINE アカウント専用メールアドレスの設定が完了しプレリリースを実施。会員へ公表し友達登録を増やし活用していく。
- 4. 澤口理事
 - (1) リハビリ手帳 POS 合同会議報告
ア) ADL 場面に対しての各職種からのアドバイス提示を中心に記載する
イ) 製本という形態ではなく各士会 HP からの資料ダウンロードにてファイリング等
 - (2) 会員増ワーキンググループより報告
ア) 入会を増加するための戦略のヒントやアイデア入会勧誘の機会を増やす学生へのアプローチ
イ) 今すぐに行える対策
養成校への当会 PR 活動→県士会ニュースの送付
入会しやすい形態方法の検討
入会するきっかけイベントの増加
研修会参加者の未入会者へのアプローチ
ウ) 時期を追って必要な戦略
会員の実態調査→会員の平均年齢やキャリア等を収集し県士会企画の立案に活かしていく
エ) 今後のワーキングの予定
会員増についてマネジメントする部署が必要か。

【三役】

1. 40周年記念事業プロジェクトチームについて当会40周年の会員への周知については県士会ニュース12月号で広報予定。県士会ホームページや公式LINEアカウントでイベント等を広報予定。
2. 次年度事業計画・予算案の作成について
ア) 事業計画フォーマットに詳細を記載し各部署から提出を依頼。提案を纏めて共有し理事より各部署に対する意見を募る。
イ) 公益法人化対策委員会からは公益事業に関する資料を理事会に共有し計画に反映できるよう支援
ウ) ワーキンググループの来年度計画・予算の共有を依頼→事務局の事業計画に反映
エ) 来年度も引きつづきオンライン会議の有効活用は継続する見通しであるため、必要性や妥当性について綿密に計画を立ててほしい
3. 医療介護総合確保促進法に基づく令和4年度神奈川県計画へ位置づける事業アイデアの募集について現在時点では特段質問や連絡はなし。提案した認知症関連の研修会については認知症対策委員会にて県民向け研修会事業として来年度事業計画を模索検討する。

III. 審議事項について

1. 各部門 部員委員承認について→承認
2. 横浜市障害支援区分認定審査会委員について
協会会員番号 8375 三川年正(みかわとしまさ)氏
湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科→承認
3. 学術誌の電子化とオンライン査読システム導入
→承認
会員が能動的に確認する必要があるため、周知方法や学術誌の製本版(必要時)の作成、会員限定もしくは有料など会員への差別化については学術部にて引き続き検討する。
4. 定款の修正について
第2章会員第9条と第6章理事会第50条の修正を第9回社員総会に議案として提出する→承認
5. 新入会員の承認について
2021年4月から9月の新規入会会員の確認→承認

IV. その他 連絡事項等

1. 議事録署名人名について
吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、野々垣監事、澤口理事、望月理事。
2. 三役会理事会資料と事業計画・予算案の資料の提出について→11月7日(日)20時までとする
3. 戸塚理事よりあいさつ
出産育児に向けて本日をもって一定期間理事業務をお休みする。学会評議委員会事業の主要業務は田中副会長に託している。出産後、理事の業務は可能な範囲で継続していきたいと思っている。皆様のご協力を今後ともよろしくお願ひします。
4. 対面式理事会の開催について
神保会長より、今年度の新理事就任とお互いのコミュニケーションの

促進を図るために、今年度に対面式での理事会の開催を模索していきたい。今後の感染流行状況、ワクチンの追加接種状況などを踏まえながら検討していく。

5. 監事より
長時間にわたる活発な議事運営お疲れさまでした。会員の利便性の向上から定款の整備など、多岐にわたる検討がなされていきました。定款や規約に則って当会が運営できるようにこれからも継続してください。
以上(文責:副会長 金山桂 事務局長 吉本雅一)

★ 2021年度第6回理事会 議事録 2021.11.21

日 時:2021年11月21日(日)13:00~16:10
場 所:オンライン開催のため各自自宅・職場
出席理事:神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島規規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、神田崇央、佐藤範明、木村修介、望月強伸、澤口勇、西川航平、大郷一成(16名)
欠席理事:野本義則、戸塚香代子(2名)
出席監事:錠内広之(1名)
欠席監事:野々垣睦美(1名)

I. 会長より挨拶

本日は来年度の事業計画と予算案について検討します。県士会の財源については限りがあり有効的に活用していくが肝要です。建設的により良い県士会活動ができるように会員の声を反映した組織づくりをしていきましょう。理事会の司会進行は吉本事務局長にその任を依頼するがよろしいか。(全理事承認)

II. 報告事項について

【トピックス】

1. 代議員選挙について 池田選挙管理委員長欠席のため金山副会長代行
 - (1) 今後のスケジュールの確認
ア) 公示:web掲載(依頼中/2021年11月10日~12月20日まで掲載予定)
212号(12月号)チラシ封入(高揚印刷にチラシ直送)
イ) 立候補届の受付期間:2021年12月1日(水)~12月15日(水)/2週間
ウ) 立候補者数の報告:2021年12月16日(木)ごろ
エ) 立候補者が定数未満の場合
推薦候補の受付期間:2022年1月5日(水)~1月26日(水)/3週間
オ) 立候補者が定数以上の場合
投票用紙の発送・受付:調整中
カ) 代議員決定の報告:2022年1月28日(金)

【各部署】

1. 事務局
 - (1) 県士会事務所・備品使用時の手続きについて
県士会事務所・備品を使用する際の手続きについての方法を周知
2. 学会評議委員会(田中副会長より代理報告)
 - (1) 第18回神奈川県作業療法学会について
現時点で参加申し込み者数は150名程度。12月3日まで参加申し込みを延長する。
 - (2) 第19回神奈川県作業療法学会について
学会長候補の内諾をいただいた。審議を依頼する。
3. 認知症対策委員会
 - (1) 認知症の人と家族の会からアンケートの調査協力依頼について
対象の方がいれば各理事にもアンケートに協力をお願いしたい。アンケートの回答の入り方は当事者または家族が行う。資料に記載があるGoogleフォームから行うよう促してほしい。
4. エリア化推進委員会
 - (1) OTコネクトミーティング報告
神保会長より今まで実施してきたコネクトミーティングの内容を理事にも共有してほしいとあり。
ア) 実施報告について
第1回:9月13日 参加者:16名(部員含む)
神保会長より「県士会の未来予想図」をテーマ講演
参加者と「OTの魅力」について語り合った
第2回:10月18日 参加者:24名(部員含む)
野々垣睦美氏より「OTの魅力を語ろう!」をテーマに県外OTや学生も参加し多様な語り場となった
第3回:11月13日
木村修介氏より「訪問OTの魅力を語ろう!」をテーマに話し合った
第4回:12月9日 テーマ:発達OTの魅力を語ろう! ゲストスピーカー:高橋香代子氏 を予定

- イ) OT コネクトミーティングの呼びかけの依頼
リアルタイムでの参加者同士のコミュニケーションを目的としている。学生も含めて多様な方々に参加してもらいたい。周囲のOTや学生への周知宣伝をお願いしたい。
- ウ) アンケートについて
参加者にアンケートを実施中。
参加しやすかった、もっと話し合いたかった、目的が明確化されていないなど多様な意見があった。

【理事】

1. 大郷理事

- (1) 地域支援活動実態調査について
 - ア) アンケートの実施について
12月1日より会員向けアンケートの実施を予定。周囲の会員への協力推進をお願いしたい。
県士会ニュースとホームページに詳細を掲載する。

2. 木村理事

- (1) 県介護予防ワーキンググループ会議報告
 - ア) 部会長について 神奈川県栄養士の竹田氏が指名された
 - イ) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施についての概要と要点を報告

3. 金山副会長

- (1) 選挙ワーキンググループより報告
代議員選挙が12月より開始。選挙管理委員会からの質問に対応しマニュアルをブラッシュアップ中。
2022年度の役員選挙と三役互選について検討開始。
選挙管理委員会の組織図反映について意見交換中。

4. 田中副会長

- (1) 40周年記念事業について
40周年記念事業企画案と予算概算について説明
 - ア) 記念誌の発刊
 - イ) ホームページでの40周年の周知活動
 - ウ) 40周年記念 神奈川県士会ロゴマークの作成
 - エ) つながろう！神奈川 チャレンジ動画の作成
 - オ) この作業をすすと元気になる写真コンテストと写真展
 - カ) 40周年事業を各部署で行う
公開講座、学会ダイジェスト、認知症キャラバン、代議員討論会など
 - キ) 予算概算 40万円程度
各部署の活動は各部署で賄う
 - ク) 50周年記念事業に向けて計画的に積み立てる

III. 審議事項について

1. 新入会員の承認について

2021年10月の新規入会会員についての確認→承認

2. 第19回神奈川県介護支援専門員研究大会

後援依頼について→承認

3. 第19回神奈川県作業療法学会 学会長について

理事会推薦 協会番号 12872 茅ヶ崎新北陵病院
藤本一博氏→承認

4. 40周年記念事業について

報告事項にて説明した企画案について→承認

5. 学会長の表彰について

理事会より第18回神奈川県作業療法学会学会長の表彰を学会にて行う。表彰規程に関し、福利部の規程および内規文章との照合がなされ、今回理事会としての表彰とすることが適切ではないか。予算は事務局にて執行する。今後の学会長ならびに臨床大会長に対して県士会として表彰していきたい→承認

※学会長や学術大会長等は名誉ある役職であるため総会や学会など然るべき場で広く会員に向けて表彰する。以降の表彰の運用についての具体的な方法や規程は福利部にて検討する

6. 公益目的事業プレ開催について

当初計画していた内容を変更→承認
今後全領域をテーマにしてプレ企画を検討。アンケートも実施し、公益事業実施の参考としたい

IV. 2022年度事業計画・予算について

1. 各部署より事業計画と予算概算についての説明

(1) 事務局 ¥9,720,000

運営に関する事業を継続。各理事とのヒヤリングの回数が1回に減った理由として今年度は新体制で相互理解のため2回開催であったが、次年度は2023年度の事業の相談を想定している。

(2) 財務部 ¥62,000

財務管理と調整に関する事業を継続。

(3) 学術部 ¥1,204,600

研修会運営、研究助成、学術誌の発行に関する事業を継続。研修会は月に1回予定、Peatix利用予定。
学術誌は電子ジャーナル化、オンライン査読システム導入で予算減。

今後は完全電子化を目指して検討していく。新規事業の研究倫理審査委員会（仮称）の設置については外部の見識者が加わる必要があるため謝金を計上。

(4) 教育部 ¥3,067,100

研修会事業を継続。臨床実習研修についてはアドバンスコースも検討している。事業区分については次回修正予定。

(5) 広報部 ¥2,820,000

ニュース発行、対外広報活動事業を継続。ニュースは2700部で計上。デジタル化すると1号10万のためデジタル化について引き続き検討予定。対外広報活動はOT協会と足並みを揃え小中学生向けに実施していく。OT協会の広報媒体を有効に活用したい。
新規として新入会啓発事業はOT協会、福利部と協働しながら進めていきたい。

(6) 福利部 ¥261,000

新入会オリエンテーション、表彰、倫理、求人事業は継続。表彰の情報を集める方法については模索中。
新規事業として会員の交流機会の提供をテーマに、関係部署と協働しながら新入会員促進、会員交流企画、子育て・介護時の県士会活動についての検討を実施予定。関係部署には協力依頼済、予算も福利部で計上済。

(7) 地域リハビリテーション部 ¥893,000

研修会、関係団体等との情報交換・調査、情報発信事業を継続。会議費はそれぞれの研修会予算に計上。
1回の研修会運営の内訳は1/3が謝金、1/3が会場費、1/3が会議費等事務費となっているため、オンライン開催時は会場費を返金予定。

エース級のOTをどのように増やし、地域で活動できる状態にするかも示してもらおう。

(8) 制度対策部 ¥498,340

福祉用具班、自動車運転班、災害対策班の事業を継続。制度対策班は部の活動として吸収し、班は解散予定。研修会では実際に福祉用具等にふれて実演するため会場費がかかる。新規として作業療法のチーフを対象とした情報交換会を行いたい。

(9) 規約委員会 ¥141,240

定款・規約の管理、マニュアルの整備事業を継続。会議をすべてオンラインにすると¥21,000削減可能。

(10) ウェブサイト管理委員会 ¥59,740

HP運営事業を継続。HPについて見直し中。ポータルサイトについてセキュリティ面や内容について検討予定。活動費を会議費として計上できないか検討してもらおう。

(11) 学会評議委員会 ¥230,700

県学会・臨床大会の運営サポート、マニュアル作成事業の継続。会議が多いので再検討する。

(12) 公益法人化対策委員会 ¥251,900

公益化に関する情報収集・情報提供、パイロット事業の遂行事業を継続。あくまで調査が主。パイロット事業は4領域で実施する。理事会での公益に関する勉強会開催を委員会主催の事業に変更したい。各部署との協働は助成金を活用しながら行いたい。

(13) MTDLP推進委員会 ¥165,000

基礎研修会と事例報告会の事業を継続。基礎研修会はOT協会からの指定もあり、7.5時間行う必要があるため研修会費がかかっている。1回50名×2回を想定。事例報告会は1回1名でOT協会への登録が可能になるよう丁寧にサポートすることで参加しやすくなればと考えている。

(14) 認知症対策委員会 ¥322,700

研修会、家族の会やイベントへの参画事業を継続。研修会は年2回対面を想定し計上したがオンラインでも開催可能。対外活動も再開予定。新規事業であるアルツハイマーデーでの企画検討についてはまずは周知から考えている。

(15) 地域包括ケアシステム推進委員会 ¥150,500

横浜市への派遣、研修会、啓発事業は継続。研修会についてはアドバンス研修会を予定している。派遣事業については会議費を計上。新規事業として人材バンク設立にむけて情報収集を開始したい。地域リハビリテーション部と引き続き協働しながら行う。

(16) エリア化推進委員会 ¥384,600

OTコネクトミーティング、代議員ミーティング事業を継続。コネクトミーティングは月1回開催、対面での実施も検討。代議員ミーティングは半期に1回年2回開催予定。新規事業として地域支援活動助成金を提案。県民を対象とした活動の支援とし3名以上団体かつ半分以上が県士会員であることを想定しているが、支援団体数、条件はこれから検討。神奈川全体でネットワークを作っていきたい。

(17) 選挙管理委員会 ¥70,000

役員選挙の年のため、今年度より予算が大幅に減っている。前回よりも予算が¥5,000増額になった理由は選挙公報の印刷部数が多くなるため。

2. 財務部より予算案についての説明
 - ア) 2022年度以降の会員数の推移予測について
 - イ) 各部署事業計画案に基づく2022年度予算案の提示と課題について
 - ウ) 県士会資産と今後の推移予測について
3. 質疑応答

収支差について質問あり、入会者がコロナ前より減っており収入が減っていることと今後に備え積み立てが増えていることを説明した。会員が伸びない理由として入会していない対象者が多いことが予測されるため、会員増強WGで検討しているよう入会をうながす見直しは必要。毎年一定数いる退会の理由について、転出退会が主であること、神奈川県は流動が大きい県士会に入ること、継続することのメリットについては上記同様検討が必要。
4. 提案
 - (1) 澤口理事より

助成金を活用しての事業展開を進めてほしい。学会の公開講座など積極的に検討をお願いします。
5. 総括
 - (1) 田中副会長より

提案があった助成金の活用に関しては公益法人化対策委員会の公益事業について先駆的に導入し手本となるように示してください。県士会がこれからも存続できるように資産を有効に活用していきましょう。会員に魅力のある事業を効率よく実施できるように各部署をもう一度精査して予算を検討してください。
 - (2) 神保会長より

率先して入会者を促進できるように事業を行う事は重要です。会員

の声を反映した運営を継続していきましょう。もう少し先の未来を見た時に財源の確保も重要になります。オンラインツールを引き続き上手に活用しながら事業を展開してください。また研修会の参加費なども再検討願います。県士会がさらに発展し会員の有意義な活動が行える運営を実現できる予算計画の再検討をしてください。

V. その他 連絡事項等

1. 議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、錠内監事、佐藤準理事、西川理事。
2. 12月11日(土)47都道府県委員会について

神保会長、田中副会長、澤口理事が出席予定
3. 理事メールングリスト エラー調査について

事務局より引き続き調査の回答について各理事へ依頼
4. 戸塚理事について

11月に出席 おめでとうございます
5. 監事より

長時間にわたる議事運営お疲れさまでした。本日は次年度の事業計画について話し合われました。昨年度と異なることは新型コロナウイルスの流行状況の変化だと思えます。来年度は対面式の研修会やイベント開催が期待されており、事業計画立案には大変苦労されると思えます。感染流行状況に合わせて適切な時期に事業が行えるように検討を続けてください。

以上(文責:副会長 金山 桂 事務局長 吉本 雅一)

2021年度10月度理事会 部員承認リスト

【地域リハビリテーション部】

74382 馬場 雄太 公益財団法人紫雲会 横浜病院

【制度対策部】

89525 山勢 健太郎 平成横浜病院

各部からの報告

▶ 広報部対外広報班 「神奈川県作業療法士会活動説明会」を実施しました！

(対象:国際医療福祉大学小田原キャンパス 4年生 日時:令和3年12月15日)

(文責:清野 由香里)

県士会広報部対外広報班では、これまで一般県民・関連職種・学生(中学高校)を対象に、作業療法を知っていただくことを目的に活動をしています。その中でこれらの活動のみにとどまらず、作業療法士を対象に、職能団体(協会や県士会)の入会を促進する目的とした活動の必要性を、理事・会長より助言をいただきてきました。そして今回、パイロット的に県内養成校卒業予定者へ県士会活動の紹介・入会説明会を開催しました。この企画は今年度よりはじまった企画です。

ご協力下さった養成校は、国際医療福祉大学小田原キャンパスです。

教室には広報部佐藤理事とニュース班出口班長、ZOOMにて神保会長と対外広報班清野班長が参加し、職能団体所属の意義(個人のメリット・職能団体としてのメリット)・会長からのメッセージ・県士会で行っていること・入会方法等を約30分の時間をいただきお伝えしました。

説明会後の学生アンケートからは、概ね好感触(県士会が何をしている団体なのかわかった・入会したい)

の結果でした。一方、国試対策の合間での開催であったため、開催時期をはやめてほしい、といった要望もありました。また、ご協力下さった教員の方からも、OT協会入会説明との連携や、講話内容に関するアドバイスをいただきました。

次年度以降も、今回の活動を活かして他の県下養成校に拡大できるよう準備を進めていきたいと思えます。



各部からの報告

▶ウェブサイト管理委員会 県士会サイトスペシャルコンテンツ紹介

(文責：ウェブサイト管理委員 清水 拓人)

絵本でみる作業療法に解説編が登場！

県士会サイトのスペシャルコンテンツの「絵本でみる作業療法」に解説編が登場しました。

絵本を読んで、もっと「作業療法について」「作業療法士の仕事について」知りたいと思った方向けに、ベテラン作業療法士に解説を付けてもらいました。動画は少し長くなりましたが、公開講座やオープンキャンパスでの模擬授業のようなつもりで、ぜひご覧ください。**こんなふうに「絵本でみる作業療法」を使ってはどうでしょう？**

- ①高校等から「職業紹介」の講義を頼まれたときの資料として。
- ②自分の子供や両親、兄弟から作業療法の仕事について聞かれたとき。
- ③養成校での講義（症例検討やグループワークなど）の資料として。

- ④他職種や患者様に作業療法士について知ってもらいたいとき。
 - ⑤公開講座やオープンキャンパスの資料として。
 - ⑥若手作業療法士の新人教育の資料として。
- 他にもいろいろな使い方がありと思います。ぜひ「絵本でみる作業療法」をいろんな場所で使ってみてください。



図) 県士会サイト スペシャルコンテンツ リンク先

▶学術部

(文責：中黒)

生活をみるってどういうこと？～地域生活に向けたリハビリテーションのあり方について～を開催しました！

今回の学術部主催の研修は神奈川県リハビリテーション病院の一木 愛子先生をお招きし、zoomにて開催致しました！

他県士会～学生まで多くの方に参加して頂き、大変好評でした！！

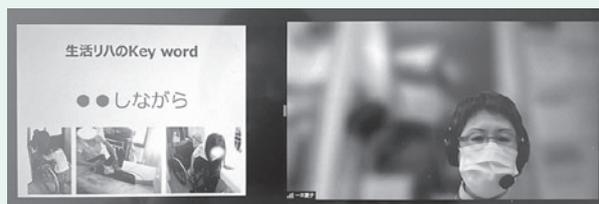
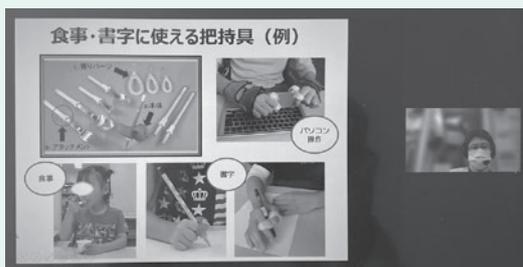
一木先生は退院後の生活を支援するということについて、様々な視点から講義して頂きました。

作業療法士として退院支援を行うにあたって、その人らしい生活とは何かを常に考え、安心安全に生活を送れるよう支援していくことこそが作業療法士として

の醍醐味であり魅力だと感じました。

また、今回からオンライン決済やコンビニ支払いなどが可能になったため、よりスムーズに研修会へ参加できるようになりました！

コロナ禍で対面での講習会が開催できずにいますが、ご自宅で気軽に受講できるのがオンラインの利点だと思います。皆様のスキルアップに繋がれるよう研修会を開催していきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。



— 講義の様子 —

講師・スタッフ含め全員が自宅から参加しました

▶制度対策部 災害対策班

(文責：宮田 和典)

大規模災害を想定したシミュレーション訓練についてのご報告

広報誌と県士会のWEBでお願いをしておりました、大規模災害を想定したシミュレーション訓練を2021年9月25日～2021年10月25日に実施しました。昨年は参加者が17名でしたが、今年は49名であり、多くの方が参加して頂きました。なお、今回は理事役員の災害時の連絡訓練も並行して実施致しました(メーリングリストを使用)。ご協力して頂いた方はこの場をお借りして感謝申し上げます。

近年では、地震や台風、土砂崩れなどの自然災害が増えており、平時より災害時に備えた対策(連携)が必要かと思えます。そのような中で、今回の大規模災害を想定したシミュレーション訓練の必要性は高く、今後も多くの方に参加して頂くことが災害時の対策につながります。県士会会員の皆様には、今後とも災害対策にご協力いただけますようお願い申し上げます。

LINE公式アカウント はじめました！

県士会の活動を皆様にお伝えする方法として、『神奈川県作業療法士会公式LINE』を開設することになりました。県士会が主催する研修会情報や各種イベントのご案内、取り組んでいる事業に関することなどをリアルタイムに発信していく予定です。神奈川県内で行われている作業療法について分け隔てなく多くの人に情報をお届けすることで、人と人をつなぐきっかけになればと思います。QRコードから『友だち登録』をしていただき、お近くの方にも是非ご案内ください。

ご不明点やお問い合わせについては、公式LINE上でのメッセージ（トークに入力すると投稿者と担当者とのプライベートメッセージとしてやりとりできます）やアカウント管理担当者まで（E-mail：official-line@kana-ot.jp）ご連絡いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



事務局からのお願い

- 退会される方 年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を ①郵送 又は ②FAX にてご提出願います。**(上記日必着)**。
- 届出内容を変更される方 住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を ①郵送 又は ②FAX にてご提出願います。(随時受付)

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ**公式ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落としとなり、返金を致しかねます。

編集後記

遅くなりましたが、あけましておめでとうございます。本年もニュースを通じて皆様に様々な情報をお届けできるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

2022年は皆様どんな1年にしたいですか？OTとしての目標、プライベートで行いたい事、行きたい場所、会いたい人等…様々な事が浮かんでくると思います。私個人としては、OTとして10年目の節目の年。改めてどんなOTをしているかな、と考えながら進んでいこうと思います。プライベートではもっと音楽にひたひたな年にしたいですね。 (さとめぐ)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (213号) 2022年2月発行(年3回発行)

発行責任者 神保 武則
 編集責任者 佐藤 隼
 編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)
 山岡 洸(湘南慶育病院)／佐藤 愛(悠の木株式会社)／安田 優子(横浜旭中央総合病院)
 丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院)／松井 洋鷹(渚野辺総合病院)
 碓屋 瑛理(佐藤病院)／岩居 洋輝(佐藤病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所
 事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号
 TEL/FAX：045-663-5997
 月火水木金 10：00～15：00
 メールアドレス：jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト
<https://kana-ot.jp> ➔ 作業療法 神奈川県 検索 

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>
 Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>